

報道関係者各位

2017年6月27日

株式会社 神戸デジタル・ラボ

## 神戸デジタル・ラボ、AIによるヘルプデスク向け対話型ChatBotを提供開始

Azure Bot Serviceを利用してスピーディな開発と検証を実現

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉一郎、以下KDL）は、6月27日、AIによって質問に自動応答する、ヘルプデスク Chat bot ソリューションの提供を開始します。本ソリューションでは、日本マイクロソフト株式会社が提供する Azure Bot Service によってスピーディな開発、提供を実現します。AIを使った高度な意味解釈も可能。Web サイトや各種デジタルサイネージに組み込むことでヘルプデスク業務を効率化するとともに、新たな顧客体験を実現いたします。

なお、本ソリューションは Azure Everywhere のメニューの1つとして提供を開始しており、インフラ環境等の準備不要で手軽に導入いただけます。

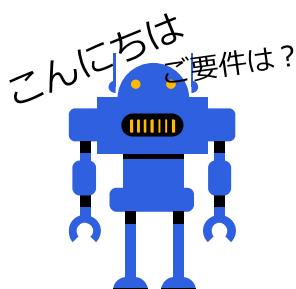
### ■対話型 ChatBot ソリューション概要

発話や自由入力によるユーザの問い合わせ内容に対して、Chat Bot が自動的に回答・提案します。例えば、複合施設や空港など施設のデジタルサイネージでユーザに音声案内したり、Web サイト上でユーザの質問に自動回答するなどの活用方法が考えられます。本ソリューションにより、ユーザが手軽に問い合わせできるほか、問い合わせへの対応コストの削減やユーザの満足度向上が期待できます。

また、チャットのログをクラウドに保存・分析することで、ユーザのニーズを掴み、新たな顧客体験の提供や業務改善に活用できます。日本マイクロソフト株式会社が提供するクラウドサービス「Microsoft Azure」のポット開発専用の統合環境、Azure Bot Service を用いるため、インフラの準備や管理は不要。セキュアで迅速な開発・提供を実現いたします。



ユーザが意図する問合せに  
的確な回答を自動応答



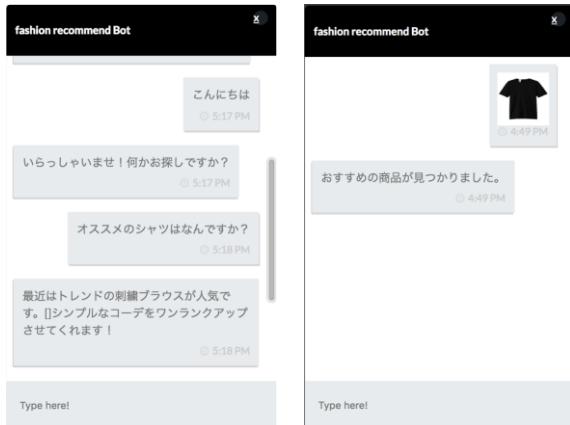
文章の意味を解釈する AI の利  
用が可能



チャットログをクラウドに保存し、  
後から分析可能

## ■開発事例

### ユーザの好みにあった衣服をレコメンドする「Fashion Recommend Bot」



アパレルのECサイトにおける接客での活用を想定した、Chat Botです。高度な自然言語処理機能を有する、株式会社 Nextremer のAIによる対話システム「minarai」を用いて、ユーザの意図を的確に理解して自動的に応答します。

膨大な衣服データを学習したAIが、Botとユーザとの対話から、そのユーザに合った商品をレコメンドします。気になる商品をドラッグ&ドロップすると、その衣服に関連しておすすめ商品を表示します。

ECサイトにおいても店舗と同じように店舗スタッフによる商品の補足情報や顧客に合わせたコーディネートの提案をユーザに体験いただき、満足度向上に繋げます。

## ■価格

通常価格：50万円～（税抜）

詳細はこちら：<https://www.microsoft.com/ja-jp/business/azure-everywhere-workshop>

システム価格初期費用/月額使用料：

基本的には、Azure Bot Serviceと弊社と協業企業である、株式会社 Nextremer の対話型AIを使用したChatBotソリューションを総合的に提供予定のため、必要に応じて変動します。詳細はお問い合わせください。

## 【発表者概要】

株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者：代表取締役社長 永吉一郎

所在地：(本社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町72番地 新クレセントビル

設立：1995年10月

資本金：2億995万円

従業員数：167名（2017年2月現在）

URL：<http://www.kdl.co.jp/>

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】※取材など隨時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ 新技術活用係

担当：堅田 陽介（かただ ようすけ）

TEL：078-327-2280

E-mail：[info@kdl.co.jp](mailto:info@kdl.co.jp)